

おおた生涯学習推進プラン
令和4年度取組状況報告
(令和5年7月現在)

基本理念

学び つながり 地域力で 羽ばたくまち

趣味やサークル活動などの自発的な学びは、心の豊かさをもたらすだけでなく、新たな関心を育みます。

新たな関心が新たな学びにつながり、さらなる知的欲求の充足や生活の改善及び自己実現につながります。

学び合いを通じて相互に理解し認め合うことで、自己肯定感や幸福感、つながり意識などが生まれ、人と人との絆の強化や、コミュニティの形成につながります。

学びを通して生きがいを持った区民が増えること、また、学び合いを通じた地域のつながりが育まれることで、地域力が向上し、誰もが自分らしく心身共に健康に暮らし、新しい世界とつながることができるまちとなります。この目指すまちの姿を「羽ばたくまち」と表現しています。

また、区内では既に多くの主体が地域力を発揮し、特色ある資源を生かした豊かな学びの機会を提供しています。こうした地域力を生かした学びをさらに区民に身近なものとしていくことは、地域力をさらに向上させることにつながります。

基本目標

基本目標 1

個人の学びの充実

楽しむことで人生を豊かにすることのほか、教養を高めることや仕事や学業に役立てること、健康の維持、体力づくりを目的として生涯学習を行っている区民が多いことから、多様なニーズに応える学びの機会の充実に取り組みます。

学ぶことに関心のある区民が多い一方で、様々な理由により学びの場に参加できていない区民もいます。ICTの活用等により、ライフステージやライフスタイルに関わらず、学ぶ意欲のある区民誰もが学びやすい環境を整えます。

基本目標 2

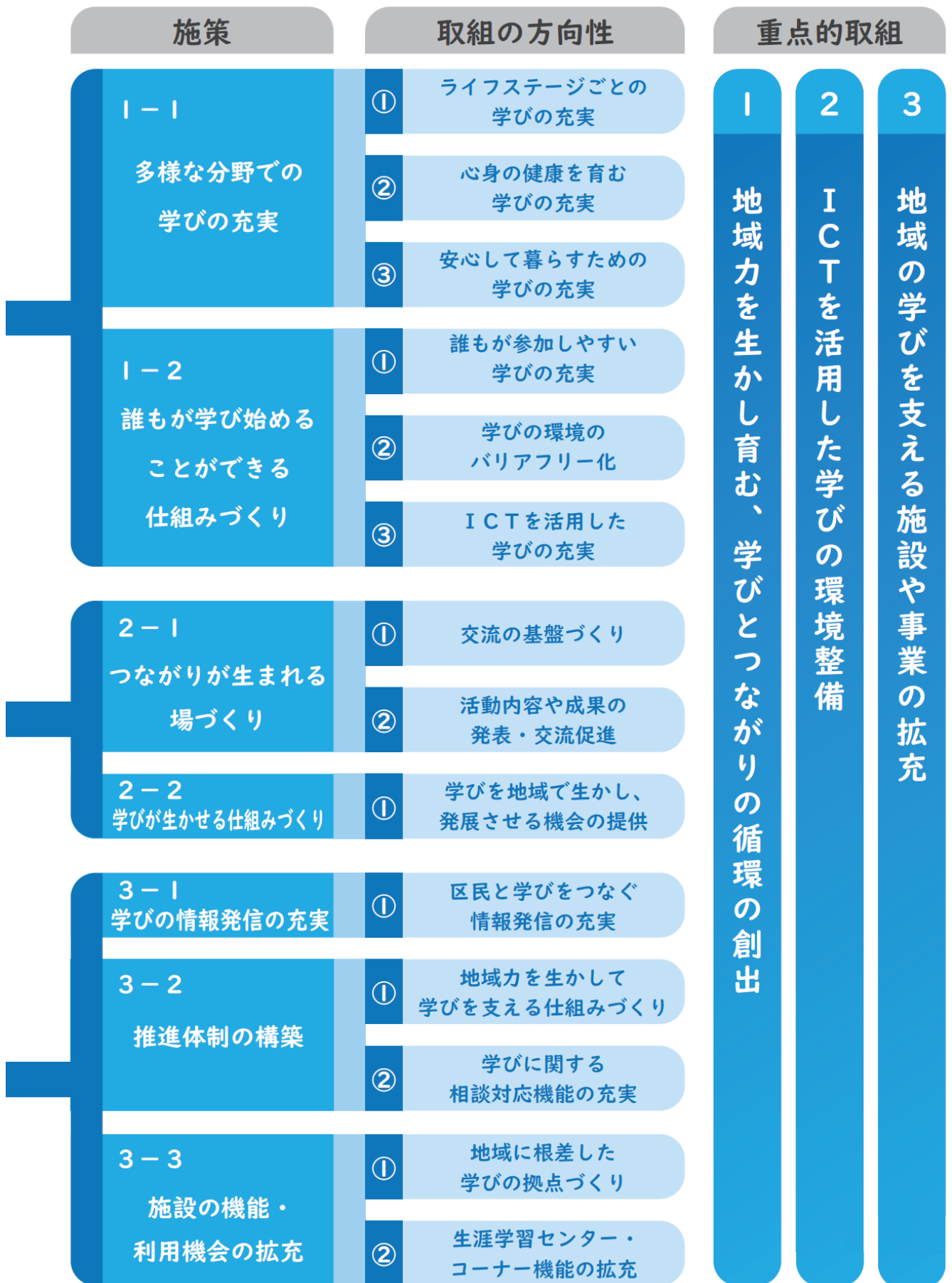
学びを通じたつながり・ 活用の場の創出

生涯学習を行う目的として、人生を豊かにするためや教養を高めるためと回答した区民が多い一方で、区が生涯学習を推進することで、地域における人と人のつながりが増えることが期待されています。学んだことを発表する機会や学びを通じて交流する機会を創出することで、個人の学びを深めるとともに、学びを通じたつながりを育み、地域の課題解決や活性化につなげます。

基本目標 3

地域の学びを支える環境整備





区は、多様な主体が特色ある区の資源を活用しながら学習機会を提供しています。また、区内には文化センターや区民センター、図書館など地域に根差した施設が全域に配置されています。こうした資源を最大限生かし、区民の学びを支援するため、多様な主体と連携しながら学習・活動環境を整備します。また、学習や活動機会の提供だけでなく、情報を体系化し可視化することで、学びたいことと学びの機会が繋がる情報の発信を行います。



基本目標Ⅰ 個人の学びの充実

楽しむことで人生を豊かにすることのほか、教養を高めることや仕事や学業に役立てること、健康の維持、体力づくりを目的として生涯学習を行っている区民が多いことから、多様なニーズに応える学びの機会の充実に取り組みます。

学ぶことに関心のある区民が多い一方で、様々な理由により学びの場に参加できていない区民もいます。ICTの活用等により、ライフステージやライフスタイルに関わらず、学ぶ意欲のある区民誰もが学びやすい環境を整えます。

注目指標	生涯学習の実行状況（過去1年間の生涯学習実行状況）			
	令和3年度実績値 （直近値）	55.4%	目標	
	令和4年度実績値 （直近値）	23.3%	達成状況	
	オンラインでの生涯学習経験（オンラインで生涯学習を行ったことがある人の割合）			
	令和3年度実績値 （直近値）	40.8%	目標	
	令和4年度実績値 （直近値）	51.6%	達成状況	

施策Ⅰ-Ⅰ 多様な分野での学びの充実		
内容	価値観やライフスタイルが多様化する中、区民には幅広い分野において潜在的な学びのニーズがあります。このため、あらゆる世代の区民が、ライフステージや関心に応じて学習を選択できるよう、多様な学習提供主体と連携しながら学びの機会の充実に取り組みます。	
取組の方向性	①ライフステージごとの学びの充実 ②心身の健康を育む学びの充実 ③安心して暮らすための学びの充実	
関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	ユネスコ活動	
	内容	「ユネスコ憲章」及び「ユネスコ活動に関する法律」第4条に基づき、ユネスコ活動の目標を達成するため、地域の特性に応じた講演会や写真展を大田ユネスコ協会と共催します。
	実績	講演会2回（85人）、写真展3回を大田ユネスコ協会と共催しました。 [前年度]講演会1回（59人）、写真展1回
	消費者講座（親子講座）	
	内容	小学生とその保護者を対象に、消費生活にかかる諸問題や環境資源・エネルギー、食育などについて、工作や料理などの体験と親子の触れ合いを通じて学ぶ機会を提供します。
実績	親子で参加できる講座を1回（21人）開催しました。 [前年度]1回（28人）	

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	生活展	
	内容	消費者問題を柱として、環境、防災、リサイクル等幅広い問題に関する展示、発表、講座等を行います。
	実績	1回(1日間)区内の消費者団体と共催しました。 [前年度]1回(1日間) 令和元年度までは2日間開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度及び4年度については規模を縮小し、Web開催と消費者講座等を行いました。
	特殊詐欺等防止のための啓発活動の推進	
	内容	特殊詐欺や消費者トラブル等の被害に遭わないように、防災危機管理課、高齢福祉課と連携し、具体的な手口やその防止策等について啓発活動を行います。
	実績	高齢者を対象とした講座を1回(200人)、特殊詐欺に関するDVD上映を126回(1,232人)開催しました。 [前年度]新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座を開催せず、DVD上映を113回(975人)開催しました。
	おおた区民大学	
	内容	地域社会に密着した課題など幅広いテーマについて学ぶ機会を提供します。区内の大学や専門学校との提携による専門性の高い講座や、区民参画の企画講座などにより区内の特色ある資源を活用しながら、区民の多様な学習意欲に応えます。また、他の学習者との学び合いにより、学びを深めながら地域への愛着を育みます。
	実績	生涯学習入門、現代的課題、地域づくりなどをテーマに、公募企画員による企画講座や区内大学等との連携講座など85回(1,201人)開催しました。 講座を通じて学んだことを自分事として捉え、学びを深めることができるようにすると同時に、区民が自主的に学び続けられる仕組みづくりを行いました。 [前年度]118回(836人)
	おおた区民大学等生涯学習事業の拡充	
	内容	おおた区民大学等生涯学習事業を、区民にとってよりわかりやすく参加しやすいものとするため、内容の充実・体系化を進めるとともに、情報発信を拡充します。
	実績	あり方検討を行い、①学びに関する情報の体系化、②生涯学習事業の名称変更、③区民に身近な施設での生涯学習事業の拡充に向けた準備、④気軽に参加できる講座の拡充に向けた準備を行いました。
	生活学校による事業実施	
	内容	地域社会や生活に関わる諸課題をテーマに課題解決を目指す運動を行っている生活学校に委託し、地域に根差した学習機会を提供します。
実績	暮らしに関する講座等を生活学校に委託し、12回(207人)開催しました。また、生活学校と合同研修を1回(27人)共催しました。 [前年度]委託事業12回(201人)、合同研修1回(26人)	

<p>成果・ 今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学・専門学校や地域で活動する団体等、各分野における知見を豊富に有する主体と連携しながら、多様なテーマを題材にした講座・イベントを開催することで、区民が世代を問わず、関心に応じて学習を選択できるようにしました。 ・区民が必要な情報に到達し学習を選択しやすいよう、生涯学習事業を体系化し、名称から内容を想像しづらい事業については名称を変更しました。 ・講座の参加をきっかけに、普段交流することのない、共通のテーマに興味を持った区民が集まり、学び合うことで異世代の交流につながりました。 ・講義形式での学びだけでなく、実際に手を動かした体験形式での学びも交えることで、子どもから大人まで関心を持って参加できる学習機会を提供しました。 ・学びを通して自分自身の行動や暮らしと関連付けて考え、見つめ直したり、新たな気付きを得たりすることで、他の人と話し合うきっかけになったという受講者もいました。 ・関心がありながらこれまで生涯学習を行っていなかった区民等の参加を促すため、令和5年度から、文化センター等区民により身近な施設での講座等事業の開催や、気軽に参加できるテーマを取り上げた講座を拡充します。
-----------------------	--







<p>施策 1-2 誰もが学び始めることができる仕組みづくり</p>													
<p>内容</p>	<p>区民の学ぶことへの意欲は高い一方で、様々な障壁により意欲があっても実行できていない方がいます。このため、学ぶ意欲のある区民の誰もが学び始められるよう、学びへのアクセスが困難な方を対象とした機会の提供や、ICTを活用した学習・活動機会の提供、保育環境の整備、外国人区民・障がいのある方へのサポート等、学びやすい環境を整えます。</p>												
<p>取組の方向性</p>	<p>①誰もが参加しやすい学びの充実 ②学びの環境のバリアフリー化 ③ICTを活用した学びの充実</p>												
<p>関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2" style="background-color: #cccccc;">まなびバ（日本語読み書き教室）</th> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">内容</td> <td>日本語の読み書きに不自由を感じている区民や、学び直しを必要としている区民を対象に、ひらがな、カタカナ、日常生活に必要な簡単な文などの文字の読み書きや国語、算数など基礎的な学習の場を提供します。</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1年を通して24回（35人）、3人の保育を受け入れながら開催しました。このほか自主学習会を6回行うことで受講者の継続的な学習を支援しました。 [前年度]16回（26人）</td> </tr> <tr> <th colspan="2" style="background-color: #cccccc;">保育付き事業</th> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>乳幼児の保護者が学習や地域活動に参加できるよう、講座等を保育付きで実施します。</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>主に高齢者の参加が多く見込まれる講座を除くすべての生涯学習講座に保育室を併設しました。 保育利用回数31回（73人） [前年度]保育利用回数21回（40人）</td> </tr> </table>	まなびバ（日本語読み書き教室）		内容	日本語の読み書きに不自由を感じている区民や、学び直しを必要としている区民を対象に、ひらがな、カタカナ、日常生活に必要な簡単な文などの文字の読み書きや国語、算数など基礎的な学習の場を提供します。	実績	1年を通して24回（35人）、3人の保育を受け入れながら開催しました。このほか自主学習会を6回行うことで受講者の継続的な学習を支援しました。 [前年度]16回（26人）	保育付き事業		内容	乳幼児の保護者が学習や地域活動に参加できるよう、講座等を保育付きで実施します。	実績	主に高齢者の参加が多く見込まれる講座を除くすべての生涯学習講座に保育室を併設しました。 保育利用回数31回（73人） [前年度]保育利用回数21回（40人）
まなびバ（日本語読み書き教室）													
内容	日本語の読み書きに不自由を感じている区民や、学び直しを必要としている区民を対象に、ひらがな、カタカナ、日常生活に必要な簡単な文などの文字の読み書きや国語、算数など基礎的な学習の場を提供します。												
実績	1年を通して24回（35人）、3人の保育を受け入れながら開催しました。このほか自主学習会を6回行うことで受講者の継続的な学習を支援しました。 [前年度]16回（26人）												
保育付き事業													
内容	乳幼児の保護者が学習や地域活動に参加できるよう、講座等を保育付きで実施します。												
実績	主に高齢者の参加が多く見込まれる講座を除くすべての生涯学習講座に保育室を併設しました。 保育利用回数31回（73人） [前年度]保育利用回数21回（40人）												

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	ICT を活用した学びの充実	
	内容	区民が学びたいときに自宅等から気軽に学ぶことができるよう、区や関連団体が実施する講座等のオンライン配信を拡充します。
	実績	おおた区民大学講座のうち3講座をオンデマンド配信し、生涯学習ウェブサイトですべて受講できるようにしました。 [前年度]オンデマンド配信5講座
	ICT リテラシー向上のための地域支援事業	
	内容	スマートフォンの簡単な操作方法やオンライン会議の体験等、ICTスキルを習得する機会を提供し、ICT機器を利用できる人とできない人の間に生じる格差（デジタルデバインド）の解消に努めます。
実績	スマホ初心者向け講座からオンライン会議システム体験講座まで、レベルを3段階に分け、27回（346人）開催しました。 [前年度]30回（467人）	
成果・ 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが学び始めることができるよう、日本語の読み書きに不自由を感じている区民や様々な理由から学び直しを必要としている区民に対し、日本語などを学習できる場を提供しました。 ・保育室を併設した講座を開催することで、子育て中の区民であっても学びに参加しやすい環境を整えました。 ・講座をオンライン配信することで、時間的、空間的な制約等により会場に赴くことのできない区民の参加を促しました。また、講座映像を生涯学習ウェブサイトに蓄積することで、区民が関心を持ったときにいつでも学び始められる環境を整えました。 ・身近な施設でICTスキルを習得する講座に、主に60代から80代の区民が参加し、これまでICT機器に触れる機会がなかった方々にICTスキルを習得する機会を提供することができました。 ・今後は、様々な障壁により意欲があっても実行できていない方の参加を促すため、ニーズごとに学習情報を整理し学習を選択しやすいようにする必要があります。 ・社会的に困難な状況におかれていたり、孤立したりしている区民が参加しやすい学びの形態、会場及びテーマ等を検討していくとともに、そのような方々に情報を届ける工夫が課題です。 	

基本目標2 学びを通じたつながり・活用の場の創出

生涯学習を行う目的として、人生を豊かにするためや教養を高めるためと回答した区民が多い一方で、区が生涯学習を推進することで、地域における人と人のつながりが増えることが期待されています。

学んだことを発表する機会や学びを通じて交流する機会を創出することで、個人の学びを深めるとともに、学びを通じたつながりを育み、地域の課題解決や活性化につなげます。

注目指標	生涯学習を通じた人とのつながりづくり・地域での活動状況（生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を「知人や仲間ができています」と回答した人の割合）			
	令和3年度実績値 （直近値）	27%	目標	
	令和4年度実績値 （直近値）	22%	達成状況	
	生涯学習を通じた人とのつながりづくり・地域での活動状況（生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を「地域や社会での活動に生かしている」と回答した人の割合）			
	令和3年度実績値 （直近値）	9.3%	目標	
	令和4年度実績値 （直近値）	6%	達成状況	
	社会教育関係団体の交流状況（地域の他団体と交流した経験が「ある」と回答した社会教育関係団体の割合）			
	令和3年度実績値 （直近値）	52.4%	目標	
	令和3年度実績値※ （直近値）	52.4%（※次期アンケート実施が令和5年度のため）	達成状況	

施策2-1 つながりが生まれる場づくり

内容	生涯学習によって人と人のつながりが増えることが期待されていることから、学んだことを自分の更なる学びにつなげるだけでなく、他者と共有することによって深めることや、学びをツールとしたつながりづくりをサポートします。		
取組の方向性	①交流の基盤づくり ②活動内容や成果の発表・交流促進		
関係する主な事業取組状況 （人数：延べ参加者数）	大田区生涯学習ボランティア制度		
	内容	これまでの経験によって培った知識・技術を地域に役立てたいと考える個人や団体のボランティア登録を行う制度です。講師や運営のサポーターを探している方に、登録されているボランティアの情報を紹介することで、教えたい人と学びたい人をつなげます。	
実績	登録者数45人（R5.3.31時点）、紹介件数6件 [前年度]登録者数23人（R4.3.31時点）、紹介件数0件		

	社会教育関係団体・少年育成団体登録制度	
	内容	学習・文化・スポーツなど、社会教育に関する活動を目的とした団体と青少年の健全育成に資する活動を目的とした団体を登録する制度です。団体の主体的な活動を支援することで、他団体や区民、地域とつながるきっかけをつくります。
	実績	1,997 団体 (R5.3.31 時点)、紹介件数 767 件 [前年度]1,936 団体 (R4.3.31 時点)、紹介件数 742 件
関係する主な 事業取組状況 (人数:延べ参加者数)	生涯学習のつどい	
	内容	学びを生かした活動の実践例を展示・発表することで、学びの深め方や、学びをきっかけとしたつながりづくりについて知り、考える場を提供します。
	実績	生涯学習事業を報告するパネル展示と、生涯学習相談会を NPO・区民活動フォーラムと同時開催し、広く学習情報や地域活動情報を紹介しました。来場者 118 人 相談件数 11 件 [前年度] NPO・区民活動フォーラム中止のためパネル展示はとりやめ、生涯学習の活動報告のみ行いました。
	NPO・区民活動フォーラム	
	内容	区内で活動する区民活動団体や NPO などの実践的な取組を、体験コーナーや展示、お楽しみショー、模擬店などを通じて発表する場を提供します。地域で活動する楽しさややりがいを PR し、活動に向けた意識啓発を行います。
	実績	1 回 (2 日間) 開催し、29 団体が出展し、約 700 名が来場しました。 [前年度]中止し、区民活動に関するメッセージ動画をオンデマンド配信しました。
成果・ 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習を行う個人・団体の情報を区に登録しその情報を広く公開することで、区民（他団体含む）がそれらで行われる生涯学習に参加するきっかけとなり、学びをツールとしたつながりづくりに寄与しました。 ・学び・活動の実践例や成果を可視化し発表する機会により、発表する区民が学びを振り返り、深める機会となりました。さらに、参加者（発表を見た区民）の学び・活動への参加意欲の向上及び新たなつながりを創出することができました。 ・個人や団体が活動内容や成果を発表したり、交流したりする場を各地域で展開していきます。 	

施策 2-2 学びが生かせる仕組みづくり

内容	<p>学びの成果を地域での活動等に生かすことは、自己有用感やさらなる活動に対する意欲を育むとともに、課題解決のための新たな学びを求めるといった持続的な学びと活動の循環につながります。</p> <p>学びによって得た知識や経験、ノウハウを地域課題の解決に生かしたいという区民や団体に対し、スキルアップのための機会の提供、地域とつながるきっかけづくりや活動の支援を行うことで、従前から地域で活動している区民や団体に加え、新たな担い手が参加しやすい機運を醸成します。</p>
取組の方向性	① 学びを地域で生かし、発展させる機会の提供

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	地域協働研修	
	内容	自治会・町会やNPOなどの団体が、属する地域内で他の団体と連携・協働する場の創出を支援するために、地域の課題を話し合うなど、協働のきっかけとなる研修を実施します。
	実績	久が原地区（44人）、池上地区（12人）の2回開催し、講義・ワークショップを通じて、地域のコミュニティの現状を学び、ともに語ることで地域交流のきっかけとなりました。 [前年度]勉強会1回（58人）
	区民講師講座	
	内容	大田区生涯学習ボランティアがこれまでの経験や知識を活動に生かせるよう、区民向け講座の企画・運営の場を提供し、大田区生涯学習ボランティアのスキルアップの支援を行います。
	実績	6回（116人）開催し、身近な地域での生涯学習のきっかけづくりを行ったとともに、大田区生涯学習ボランティアの実践の場を提供しました。講座を通じて大田区生涯学習ボランティア制度を紹介することで、生涯学習ボランティアの認知度向上に努めました。 [前年度]5回（83人）
	生涯学習人材育成講座	
	内容	区民の主体的な学習活動の推進役となる人材を育成するため、社会教育・生涯学習の基礎について学ぶ機会や地域とのつながりを築く機会を提供します。
	実績	12回（39人）開催し、14人が新たに生涯学習相談員となりました。 [前年度]12回（63人）開催し、21人が新たに生涯学習相談員となりました。
	生涯学習相談員の支援	
	内容	生涯学習人材育成講座修了者が生涯学習相談員として、区民からの生涯学習に関する相談対応等を通じて、地域課題を把握しながら地域とのつながりを構築できるよう支援します。
	実績	生涯学習相談員18人に対し、研修会3回を開催しスキルアップを行いました。大田区生涯学習ボランティアとの交流を深めるため、生涯学習人材交流会を1回（48人）開催しました。 [前年度]生涯学習相談員25人、研修会6回、交流会1回（37人）
	災害ボランティアの育成・支援	
	内容	災害時に備えるため、被災地ボランティア未経験者を含めた講座を実施し、災害ボランティアの育成及び被災地ボランティアの区民活動への参加を促します。
実績	災害ボランティアのリーダーとなり得る人材の育成及び活動の支援を目的とし、防災塾4回（62人）、災害ボランティアリーダー育成講座1回（21人）、ボラセン・サテライト・プロジェクト11回（95人）を開催しました。 [前年度]防災塾4回（155人）、災害ボランティアリーダー育成講座1回（15人）、ボラセン・サテライト・プロジェクト4回（35人）	

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	区民による区民のための連携講座	
	内容	大田区社会教育関係団体が自主的に地域で活動を展開できるよう、大田区社会教育関係団体による区民向け講座の企画・運営支援を行います。
	実績	コロナ禍で団体活動が自粛される中、1団体が4回(109人)の講座を実施し、これをきっかけに団体へ加入した参加者がいました。また、区民による区民のための連携講座実施後、区がフォローをしながら団体が講座を主催することで、より実践的に団体が地域で活動を展開するためのきっかけづくりを行いました。 [前年度]4団体9回(62人)
	区民活動コーディネーター養成講座	
	内容	自治会・町会に加え、専門性を持つ団体、NPOや事業者など、地域での連携・協働を推進するため「つなぎ役」となる人材を育成します。
	実績	区や区民活動団体等と協働して地域課題の解決を図ることのできる人材の育成を目的とし、区民活動コーディネーター養成講座6回(8人)、区民活動コーディネーター(つなぎ役)交流会1回(23人)開催しました。 [前年度]区民活動コーディネーター養成講座5回(18人)、区民活動コーディネーター(つなぎ役)交流会1回(18人)
成果・ 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動するきっかけとなる学習機会を提供することで、新たな担い手の参加を促しました。 ・学びによって得た知識や経験を地域に広めたいという区民や団体に対し、区民(参加者)の視点から講座を企画するための支援を行い、自主的に地域で活動を展開するきっかけづくりを行いました。 ・地域で生涯学習を始める意欲のある区民をサポートする担い手を育成するため、地域での活動支援や様々な経験を重ねた他の担い手との交流等を通じて地域とのつながりづくりを行いました。 ・体験活動を通じて、他の区民と協働する際に生じる事象について体感したり、考えたりする機会を提供しました。 ・当初は知的欲求を満たすことを目的として講座事業に参加した区民が、講座終了後は、自然と地域の新たな担い手となりうるよう講座内容等を工夫する必要があります。 ・「学びを生かす」意向はないが、「学びをさらに深めてみたい」と感じる区民が参加しやすい機会を提供する必要があります。 	

基本目標3 地域の学びを支える環境整備

区は、多様な主体が特色ある区の資源を活用しながら学習機会を提供しています。また、区内には文化センターや区民センター、図書館など地域に根差した施設が全域に配置されています。

こうした資源を最大限生かし、区民の学びを支援するため、多様な主体と連携しながら学習・活動環境を整備します。また、学習や活動機会の提供だけでなく、情報を体系化し可視化することで、学びたいことと学びの機会がにつながる情報の発信を行います。

注目指標	大田区生涯学習ウェブサイト閲覧数			
	令和3年度実績値 (直近値)	なし(構築前)	目標	
	令和4年度実績値 (直近値)	3,420PV/月	達成状況	
	生涯学習相談件数			
	令和2年度実績値 (直近値)	3,276件	目標	
	令和4年度実績値 (直近値)	2,533件	達成状況	

施策3-1 学びの情報発信の充実		
内容	各主体別に提供している様々な学習情報を体系化し、区民の学びたいことと学びの機会がにつながる情報発信を行うことで、生涯学習を始めるきっかけをつくります。「生涯学習」という言葉を認識していない区民であっても、必要な情報にたどり着きやすくなるような工夫をします。	
取組の方向性	① 区民と学びをつなぐ情報発信の充実	
関係する主な事業取組状況 (人数:延べ参加者数)	生涯学習ガイド「WaKuWaKu おおた」	
	内容	生涯学習を行うきっかけづくりを目的とし、区内で行われている講座・講演・催し物などを掲載します。
	実績	4回各1,500部発行 令和5年4～6月号から、名称を生涯学習情報誌「おおたまなびの森」とし、サイトの名称と統一することで、区全域を学びの場(キャンパス)に見立て、他課が実施する講座事業と生涯学習担当が実施する事業が区内各所で受講できることを発信しました。 [前年度]4回各約1,000部発行
	社会教育情報「マナビィ☆おおた」	
	内容	大田区社会教育関係団体の会員募集やイベントに関する情報等を掲載し、団体の活動を応援します。
実績	2回各1,600部発行 7月から生涯学習ガイド「WaKuWaKu おおた」へ統合しました。 [前年度]12回各1,600部発行	

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	おおた地域力発見ガイド	
	内容	地域活動を始めたい人や既に地域活動に携わっている人向けに、区内で行われている地域活動や、地域参加・地域活動を応援する事業を集約・掲載します。
	実績	1回 2,600部発行 [前年度] 1回 2,600部発行
	(仮称)生涯学習ウェブサイトの構築・運用	
	内容	区内の生涯学習に関する情報を一元的にわかりやすく発信するウェブサイトを構築し、区民の学習や活動のきっかけづくりを支援します。またサイトを通じて、各種講座をオンライン受講できるよう整備します。
	実績	令和5年1月31日開設 閲覧数：3,420PV/月
成果・ 今後の方向性	大田区区民活動情報サイト「オーちゃんネット」	
	内容	大田区におけるさまざまな区民活動団体（自治会・町会、NPO法人、任意団体、社会教育関係団体等）の活動内容やイベントなどの情報を発信します。
	実績	登録団体 812 団体、アクセス件数 71,815 件、ページビュー 187,262 ページ [前年度]登録団体 775 団体、アクセス件数 45,679 件、ページビュー 107,625 ページ
<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信時に、言葉だけでなくイラストでも生涯学習を表現することで、「生涯学習」という言葉を認識していない区民であっても、必要な情報にたどり着きやすいようにしました。 ・区や外郭団体が発行・発信している、生涯学習に関する広報紙やウェブサイトの情報を集約することで、分野に関わらず広く生涯学習についての情報を収集しやすいようにしました。 ・様々な分野で独立している生涯学習に関わる情報を集約し、新たに定めたカテゴリーごとに整理し発信することで、区民の学びたいことと学びの機会がつながりやすいようにしました。 ・生涯学習関連情報を発信している媒体と連携し相互に説明やリンクを掲載することで、区民が関心に応じて情報を収集しやすいようにしました。 ・今後も引き続き分野横断的に情報を整理し、学びたいことと学びの機会がつながる情報発信を行います。 ・生涯学習に係る情報を集約・発信することを目的として新たに開設した生涯学習ウェブサイト、各部局で実施する講座事業等に関する情報が適宜掲載されるよう、区内での認識を深めていく必要があります。 ・積極的に学びに関する情報を探している人以外にも情報が到達するよう、様々な媒体を用いて、情報を目にする機会を増やしていきます。 		

施策 3-2 推進体制の構築		
内容	区民が学びを通じて個人の人生を豊かにするとともに、豊かな人と人とのつながりを構築することで地域力を向上させるためには、それを支える様々な主体との連携が求められます。市内の関係部局はもちろん、学校、地域、関係機関や専門職等と積極的に連携・交流することで、区が有する特色ある資源を結集し、地域力を生かした生涯学習施策を推進します。	
取組の方向性	①地域力を生かして学びを支える仕組みづくり ②学びに関する相談対応機能の充実	
関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	生涯学習の推進に係るネットワークの構築	
	内容	区内で生涯学習の推進に関わる多様な主体と連携・情報共有する場を設け、地域特性や各主体の専門性を生かした学習・活動機会を拡充します。
	実績	大田区における生涯学習の推進について広く意見を求め、生涯学習の推進に関わる多様な主体と連携・協働し、「おおた生涯学習推進プラン」で掲げた基本理念を実現するため、「おおた生涯学習推進プラン」推進会議設置に向けた準備を行いました。
	関係部局との連携・協働の推進	
	内容	生涯学習に関連する施設、学校のみならず、それぞれの行政課題に沿った学習機会を提供している市内の部局と、区が目指す生涯学習のあり方を共有し、生涯学習推進に係る課題を解決していくため、横断的な連携体制を強化します。
	実績	生涯学習の機会を提供している部局と横断的に連携し、「おおた生涯学習推進プラン」を円滑かつ効果的に推進するため、「おおた生涯学習推進プラン」推進市内検討委員会設置に向けた準備を行いました。
	生涯学習相談	
	内容	区内の様々な機関や団体が行う講座・イベント、活動等の情報提供や学びに関する相談対応を行います。区内の豊富な学びの資源と学ぶ意欲のある区民をつなげることで、区民の主体的な学びを支援します。生涯学習センター蒲田のほか、区民に身近な区施設等においても相談会を開催します。
	実績	相談件数 2,533 件、相談会 32 回 (76 件) [前年度]相談件数 2,413 件、相談会 36 回 (93 件)
	学びに関する相談対応機能の充実	
内容	区内の豊富な学びに関わる資源と学ぶ意欲のある区民をつなげ、地域での学びを一層活性化するため、学びに関する相談・コーディネート機能のあり方について、実践的に検討します。また、個別の学びに関する相談やニーズを分析し、改善していくための取組も試行的に実施します。	

	実績	相談対応記録から、個別の学びに関する相談やニーズの分析を行いました。また、生涯学習ウェブサイトから相談を受け付けることができるようにし、対面以外でも相談できる環境を整えました。 令和5年度から、社会教育専門職が社会教育関係団体に最も利用されている施設である文化センターに定期的に赴き、各地域で生涯学習に係る相談を受ける体制を整える準備を進めました。
成果・今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・庁内の関係部局だけでなく、区内で生涯学習の推進に関わる多様な主体と積極的に連携・交流することで生涯学習施策を推進するため、会議体を設置し令和5年度から連携・情報共有できる体制を整えました。 ・学びたいことが明確な区民に対する情報の提供のほか、学びたいことが明確になっていない区民に対しても、相談対応を通じて区民のニーズを洗い出し、学びが見つかるようサポートを行いました。 ・推進に向けた会議体以外でも、生涯学習の機会を提供する部局と情報共有を密に行い、各部局で実施する講座事業等に係る情報が、それらを必要とする区民に届くよう工夫していく必要があります。 ・現状、生涯学習センター蒲田等において定期的に相談会を実施していますが、常時相談可能な窓口がないため、相談窓口としての機能をどこに置くか、またコーディネートのあるあり方について、検討していく必要があります。

施策 3-3 施設の機能・利用機会の拡充		
内容	区民に最も身近な生涯学習に関連する施設における情報や場の提供、学びを通じた人や地域とのつながりづくりを支援する機能等を拡充し、区民が身近な施設で気軽に学び、活動できる環境を整備します。	
取組の方向性	①地域に根差した学びの拠点づくり ② 生涯学習センター・コーナー機能の拡充	
令和4年度 関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進	
	内容	集会施設（文化センター・区民センター等）、図書館等の機能や使い方を区民にわかりやすく発信するとともに、区民の身近な生涯学習の場としてさらに活用されるよう拡充・整備を進めます。また、これから整備を進める複合施設は、生涯学習に関する情報発信の場や学びを通じて人が集まり、つながりを育む拠点としても活用していきます。
	実績	区立図書館5館に生涯学習専用ラックを設置し、生涯学習事業に係る情報を配架し発信しました。また、文化センター、図書館等で生涯学習相談会を実施することにより、それらの施設が生涯学習の拠点であるという発信にもつながりました。
	区民活動支援支援施設（こらば大森・mics おおた）	
	内容	福祉、環境、まちづくりなどの地域の社会的活動や公益性のある活動を行う団体に対して、情報の提供、相談及び助言を行うとともに、活動の場所を提供します。
実績	区民活動団体に対して、会議や活動の場の提供、助成金等の情報提供、団体運営や活動の相談支援、団体のスキルアップを目的とした講座を実施しました。	

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	生涯学習センター・コーナー機能の拡充	
	内容	学びたいことが明確になっていない区民も含め、区民の学び始めを支援するための生涯学習情報の提供、相談等の機能を有する「生涯学習コーナー」と、生涯学習情報の提供、相談等の機能に加えて、区内全域に渡る人材や施設に関する情報の集約、コーディネート機能、及び活動や交流のためのスペースを提供する「生涯学習センター」のあり方を検討します。
	実績	生涯学習センター・コーナー機能のあり方について、令和5年度から「おおた生涯学習推進プラン」推進会議において検討していきます。
成果・ 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関連する施設において、学びに関する情報を発信したり、講座・イベントを実施したりすることで、区民にとって身近な場所で学んだり、さらに学びを深めたりするきっかけを提供することができました。 ・生涯学習に関連する施設での情報発信、相談、コーディネート機能等を拡充するため、令和5年度から社会教育専門職が文化センターに定期的に赴き、相談対応や講座・イベントを行います。 ・区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進、生涯学習センター・コーナーの機能、及び学びに関する相談対応機能の充実について、複合的に検討していきます。 	

重点的取組

I 地域力を生かし育む、学びとつながりの循環の創出	
内容	<p>区は、羽田空港やものづくり等、全国的にも知名度の高い資源のほか、自治会・町会活動が盛んであること、多様な教育機関が存在すること、スポーツや文化活動が活発であること等、生涯を通じて学ぶための豊富な資源に恵まれているといえます。</p> <p>それらの資源（主体）との連携・協働を強化し、区内の学びに関する情報を集約・分析や改善をしながら、多様化する区民の学習・活動ニーズに応じていくことは、地域力を生かした学びの機会充実につながります。地域力を生かした豊かな学びを通じて、つながりや地域に対する愛着を育み、地域での活動を側面的に支援することで、さらなる地域力の向上につなげます。</p>
重点事業	<p>1-1-③ おおた区民大学</p> <p>2-2-① 区民活動コーディネーター養成講座</p> <p>3-2-① 生涯学習の推進に係るネットワークの構築</p> <p>3-2-② 生涯学習相談</p>
成果・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の大学や専門学校と連携した専門性の高い講座や区民参画の企画講座等、区内の特色ある資源を活用した学習、学び合いの機会を提供しました。 ・学習機会を提供するだけでなく、地域で学びを展開する意向のある区民・団体の地域での活動を支援することで、学び合いを通じた地域のつながりを育むきっかけづくりを行いました。 ・区内で生涯学習の推進に関わる多様な主体と連携・情報共有する場を設けるため、会議体設置に向けた準備を行いました。 ・日頃の生涯学習相談実績やアンケート等から区民のニーズを集め、それを基に改善を要する部分の洗い出しを行いました。 ・「おおた生涯学習推進プラン」推進会議を通じて、多様な主体と連携することで、区内の資源を最大限活かした講座事業やコーディネート機能を拡充するとともに、それらの学びの資源と様々なニーズを持った区民がつながるための、相談機能を拡充します。また、研修等を通じて相談に携わる職員やボランティアの能力向上を図ります。

2 ICTを活用した学びの環境整備	
内容	<p>ICT等の高度化により、時間的、空間的な制約を超えた学びの機会を提供することが可能となっています。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインによる学習や交流等、ICTを活用した学びやつながりへのニーズが顕在化しています。</p> <p>ICTを活用した学びに関する情報の発信や学習環境の整備を進めることで、学ぶ意欲があっても、時間的制約等から実行することができていない人たちに対しても、学びやつながりづくりの機会を拡充します。</p> <p>ICTを活用した学びの環境整備と並行して、ICT機器を活用できる人とできない人の間に生じる格差（デジタルデバイド）の解消にも努めます。</p>
重点事業	<p>1-2-③ ICTを活用した学びの充実</p> <p>1-2-③ ICTリテラシー向上のための地域支援事業</p> <p>3-1-① (仮称)生涯学習ウェブサイトの構築・活用</p>
成果・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・講座を配信することで、時間的、空間的な制約等により会場に赴くことのできない区民の学習参加を促しました。 ・紙媒体に加え、ウェブサイトにおいて生涯学習に関する情報発信を行うことにより、ライフスタイルやライフステージに応じていつでもどこでも情報を収集できる環境を整え、より多くの区民に情報が届けられるようになりました。 ・ICTを活用することが困難な区民に対し、初歩的なICTスキルを習得する機会を提供することで、ICTを活用した学びやつながりづくりの端緒となりました。 ・生涯学習ウェブサイトのコンテンツを拡充するとともに、ウェブサイトがより多くの区民に活用されるよう、認知度の向上に努めます。 ・生涯学習担当が実施する講座のオンライン配信のみではなく、庁内の各部局が提供する動画コンテンツも集約していきます。

3 地域の学びを支える施設や事業の拡充	
内容	<p>社会の変化に対応した多様な学びの機会を提供するため、講座内容を充実・体系化するとともに、事業自体の認知度を向上させる取組を進めます。</p> <p>学びに係る区民のニーズ等を集約・分析し、改善につなげる仕組み及び相談・コーディネート機能のあり方についても検討します。</p> <p>また、施設間の情報共有や連携を強化し、学習や活動の拠点となる生涯学習に関連する施設の機能・役割をわかりやすく示すことにより、区民が身近な場所で学習したり、活動したりしやすい環境を整備します。</p>
重点事業	<p>1-1-③ おおた区民大学等生涯学習事業の拡充</p> <p>3-2-② 学びに関する相談対応機能の充実</p> <p>3-3-① 区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進</p> <p>3-3-② 生涯学習センター・コーナー機能の拡充</p>
成果・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ おおた区民大学を含む生涯学習事業の見直しを行い、生涯学習に係る情報の体系化、生涯学習事業の名称変更、講座事業等の拡充を行いました。これにより、区民が必要な情報に到達しやすくなることで事業の認知度の向上に努めました。 ・ 図書館や文化センターなど区民に身近な施設で生涯学習に関する情報を積極的に発信したり、それらの施設で講座事業や相談会を実施することで、区全体に学びの場があることを発信しました。 ・ 区民により身近な施設で、学びに係る区民のニーズ等を集約・分析するため、令和5年度から、社会教育専門職が文化センターに定期的に赴き、施設利用者が相談しやすい体制を整えます。 ・ 区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進、生涯学習センター・コーナーの機能、及び学びに関する相談対応機能の充実について、複合的に検討していきます。